

令和8年度

# 教職員研修案内

島根県教育委員会

目次

令和8年度 各研修の注意事項		1264 数理科採用5年目研修及び6年目研修	- 25 -
1 島根県教職員研修計画	- 1 -	1345 英語科採用5年目研修及び6年目研修	- 25 -
2 島根県教職員研修体系	- 10 -	1297 新任学校図書館担当者研修	- 25 -
3 令和8年度に実施する研修	- 11 -	1266 教育課程デザイン研修	- 25 -
4 令和8年度に実施する研修の概要		1267 ICT教育の基盤に係る管理研修	- 26 -
		1268 ICT活用推進リーダー教員研修	- 26 -
		858 小・中学校特別支援学級、通級による指導新任担当教員研修	- 26 -
		919 新任特別支援教育コーディネーター研修	- 27 -
		1329 新任人権教育担当主任等研修	- 28 -
		1270 学校・福祉連携推進教員研修	- 28 -
		1167 特別な支援のための非常勤講師(にこにこサポート事業)研修	- 29 -
		1182 特別支援教育専門性向上研修	- 29 -
		1255 通級による指導担当教員等研修	- 29 -
		1305 医療的ケア児担当者研修	- 29 -
		<b>〈テーマ研修〉</b>	
		1131 講師等対象授業づくり研修	- 30 -
		1293 中学校数学理科教員リーダー育成研修	- 30 -
		1241 中学校体育教員(領域)研修	- 30 -
		886 中・高種目別指導者研修	- 30 -
		615 中・高等学校体育実技研修	- 31 -
		616 小学校体育実技研修	- 31 -
		1185 保育教諭・幼稚園教諭・保育士合同研修	- 31 -
		1202 幼小連携・接続研修	- 31 -
		1144 日本語指導が必要な児童生徒教育研修	- 31 -
		1326 学びの根っこをぐんぐん伸ばすプロジェクト「学びの基盤に関する調査」研修	- 32 -
		1229 高等学校探究学習担当者研修	- 32 -
		1330 小・中学校特別支援教育コーディネーターアドバンス研修	- 32 -
		1186 ミドルリーダー育成研修	- 32 -
		1176 複式学級新任担当者研修	- 32 -
		1278 ゼロから学びたい先生のための教科教育研修(中学校免許外教科:音楽、美術、技術・家庭、保健体育 編)	- 33 -
		5002 若手教員授業力向上セミナー	- 33 -
		1277 ふるさと教育研修	- 34 -
		<b>〈能力開発講座〉</b>	
		113 小学校算数科教育講座	- 35 -
		362 小学校家庭科教育講座	- 35 -
		528 小中学校国語科書写実技講座	- 35 -
		815 中・高等学校国語科教育講座	- 35 -
		816 中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科教育講座	- 35 -
1239 小・中学校等校長学校経営実践研修	- 17 -		
1240 小・中学校等教頭学校運営実践研修	- 17 -		
1118 管理職研修(新任校長)	- 17 -		
1119 管理職研修(2年目校長)	- 18 -		
1120 管理職研修(新任副校長・新任教頭)	- 18 -		
1121 管理職研修(2年目副校長・2年目教頭)	- 18 -		
1122 管理職研修(3年目副校長・3年目教頭)	- 19 -		
1123 主幹教諭研修(新任)	- 19 -		
1236 主幹教諭研修(2年目)	- 19 -		
1263 管理職研修(幼児教育施設)	- 19 -		
		<b>〈職務研修〉</b>	
1168 生徒指導主任・主事等研修(義務)	- 20 -		
1169 生徒指導主事研修(県立学校等)	- 20 -		
1170 学校安全(災害安全)研修	- 21 -		
1172 学校安全(交通安全)研修	- 21 -		
628 養護教諭研修	- 21 -		
843 栄養教諭研修	- 21 -		
1226 新任等学校栄養職員職務研修	- 22 -		
1227 新任等養護助教諭職務研修	- 22 -		
1327 教職経験6年目研修(養護教諭)スキルアップ研修	- 22 -		
1328 教職経験6年目研修(栄養教諭)スキルアップ研修	- 22 -		
1223 県立学校道徳教育研修	- 22 -		
478 小・中学校教務主任研修	- 23 -		
655 小・中学校研究主任等研修	- 23 -		
1129 新任講師等研修	- 24 -		
963 小・中学校事務職員新任事務リーダー研修	- 24 -		
971 小・中学校事務職員主事研修	- 24 -		
1135 小・中学校事務職員主任主事研修	- 24 -		
1265 新任臨時的任用等学校事務職員研修	- 24 -		
1149 小・中学校事務職員新任事務リーダーフォローアップ研修	- 25 -		
1148 小・中学校事務職員事務主幹フォローアップ研修	- 25 -		

----- 目次 -----

817	中・高等学校数学科教育講座	- 35 -	1334	発達障がいのある子どもの理解と特別支援学級の授業づくり講座	- 43 -
887	中・高等学校外国語教育講座	- 36 -	1335	通常の学級における多様な学びを支える基礎講座	- 43 -
1035	小学校社会科教育講座	- 36 -	1337	特別支援学校センター的機能担当者実践講座	- 43 -
1136	小学校理科教育講座	- 36 -	1336	明日からの支援に生かす！特別支援学級・通級による指導担当のための実践講座	- 44 -
1154	高等学校理科教育生物講座	- 36 -	1338	学びが変わる！知的障がいのある子どもの理解と授業づくり講座	- 44 -
1280	小学校道徳教育講座	- 36 -	1339	「個別の教育支援計画」でつなげる支援・つながる支援講座	- 44 -
1279	小学校理科教育(基礎・基本)講座	- 36 -	1303	いじめ・不登校を防ぐ！学級づくり講座	- 44 -
1282	中学校理科教育オンライン講座	- 37 -	1348	教育相談！みんなでスキルアップ	- 44 -
1151	中学校理科教育講座	- 37 -	1341	生徒指導の4つの視点から考える子どもの自己実現支援講座	- 44 -
1231	小学校外国語教育講座	- 37 -	1194	教育法規の基礎講座	- 45 -
751	小・中学校「総合的な学習の時間」講座	- 37 -	1218	ファシリテーション講座	- 45 -
1342	高等学校産業教育 授業デザイン講座	- 37 -	<b>〈島大連携〉</b>		
205	高等学校産業教育実技(工業)講座	- 37 -	9019	図画工作科の授業と教材開発	- 46 -
306	高等学校産業教育実技(水産)講座	- 38 -	9020	小学校社会科の授業デザインと教材開発	- 46 -
255	小学校国語科教育講座	- 38 -	9021	教育政策から考える多様な背景を持った子供たちの就学・進学保障【現職教員研修と共同開講】	- 46 -
398	小学校生活科教育講座	- 38 -	9022	地域問題解決型の総合的な学習・探究の時間の開発	- 46 -
781	中・高等学校音楽科教育講座	- 38 -	9023	教師のキャリア【現職教員研修と共同開講】	- 46 -
1137	小学校音楽科教育講座	- 38 -	9024	学校現場のメンタルヘルス～島根大学式働き方タイプ尺度を生かして～	- 46 -
1300	小学校特別活動講座	- 38 -	9025	生徒同士をつなぎ、自治的な力を育むことで、いじめの未然防止に取り組んだ中学校の実践に学ぶ	- 47 -
1301	中学校特別活動講座	- 39 -	9026	障碍のお子様を養育されている保護者の「語り」からの学び【鳥取県教育センター】	- 47 -
639	小学校図画工作科教育講座	- 39 -	9030	発達障害のある児童にかかわるいじめがなぜ重大事態に至ったのか	- 47 -
1256	中・高等学校美術教育講座	- 39 -	9032	ICT活用の可能性	- 47 -
1153	高等学校理科教育化学講座	- 39 -	9033	地域とともにある学校経営【現職教員研修と共同開講】	- 47 -
862	中学校技術教育講座	- 39 -	9036	学校教育における「多文化共生」(現職教員研修と共同開講)	- 47 -
1346	共通教科情報「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」講座	- 40 -	9037	英語授業における多様な子どもたちへの工夫と支援	- 48 -
1235	学校図書館を活用した授業改善講座	- 40 -	9038	英語授業における多様な子どもたちへの工夫と支援【鳥取県教育センター】	- 48 -
1347	健康教育実践講座	- 40 -	9039	小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践【鳥取県教育センター】	- 48 -
1206	就学前人権教育講座	- 40 -	9040	子ども理解とかかわり～子どもの心を育てる営み～	- 48 -
1284	国立療養所長島愛生園訪問研修	- 40 -	9043	音楽科の「探究的な学び」を構想する	- 48 -
1331	人権教育講座	- 41 -			
1189	AI時代のプログラミング教育実践講座	- 41 -			
1286	校務改善のための教育データ活用講座	- 41 -			
1287	クラウドの強みを生かした授業デザイン講座	- 41 -			
1288	子どもが主体のコンテンツ活用講座～NHK for schoolを中心に～	- 41 -			
1289	AI時代の教育情報セキュリティ講座	- 42 -			
1290	児童生徒が自ら考える力を高める！情報モラル教育実践講座	- 42 -			
1291	授業で育み活かす！子どもの情報活用能力育成講座	- 42 -			
1332	校内の情報化を進めたい教員のためのICT活用推進実践講座	- 42 -			
921	不登校の理解と支援講座	- 42 -			
1298	子ども理解と支援講座	- 43 -			
1100	教職員のかかわる力を高める実践講座	- 43 -			
1333	愛着(アタッチメント)形成に課題を抱える子どもの理解と支援講座	- 43 -			

目次

9045	英語学習における学びの多様性と、授業での工夫を 考える(理論編)	- 48 -	8010	【小・中学校書写、高等学校書道】主体的な学びを実現す る書写・書道の授業づくり	- 53 -
9046	Q-U調査を活用した児童生徒理解、学級集団理解に 基づく教育実践のあり方	- 49 -	8011	【中・高等学校美術】アーティストに学ぶ“抽象表現”～発 想・構想の広がりを経験してみることとおして～	- 53 -
9047	Q-U調査を活用した児童生徒理解、学級集団理解に基 づく教育実践のあり方【鳥取県教育センター】	- 49 -	8012	【小学校音楽】子ども一人ひとりが主役の授業づくり～子ど もの思いを引き出し、表現につなげる器楽活動のために！ ～	- 53 -
9048	共生を実現する学校について考える～多様性(いろいろ) の尊重と凝集性(まとまり)の両立を目指して～	- 49 -	8013		
9049	中学校技術・家庭科技術分野の問題解決のアップ デート	- 49 -	8014	【小・中・高・特別支援学校体育】水泳が苦手な児童生徒へ の効果的な指導方法～安心・安全な水泳学習の実施に向 けて～	- 54 -
9050	地理を専門としない教員のための地理・地図学習の 基礎	- 49 -	8015		
9051	アセスメントの重要性と多機関連携の在り方	- 49 -	8016		
9053	UDLに基づく中学校・高等学校数学科の指導	- 50 -	8017	【小学校社会】探究を楽しむ！子どもが社会的な見方・考 え方を働かせる社会科の授業づくり	- 54 -
9055	支援につなげるための不登校理解～早期支援に焦点をあ てて～	- 50 -	8018	【プログラミング教育】プログラミングの思考を育むとは？ ～プログラミング体験を通して考える授業づくり～	- 54 -
9057	自立活動と個別の指導計画の基礎・基本	- 50 -	8019	【小学校外国語活動・外国語】中学校への架け橋を築く！ 小学校外国語「出口の姿」と評価のあり方	- 54 -
9058	子どもの主体的な学びを実現する道徳科の授業づくり(中 学校向け)	- 50 -	8020	【高等学校英語】生成AI時代に必要な英語力を育む教師 の役割とは？	- 54 -
9059	漢字学習の評価と支援について考える	- 50 -	8021	【高等学校工業】次世代の「ものづくり」教育とは？～課題 研究を深化させる探究活動～	- 54 -
9060	教師の多様性を活かすための学校の変革とリーダーの役 割【現職教員研修と共同開講】	- 50 -	8022	【小・中学校道徳①】「深い学び」を実現する道徳科の授業 づくり～子どもの考えや想いを引き出す指導と展開～	- 55 -
9061	地域社会とつながるためのインクルーシブ教育【現職教員 研修と共同開講】	- 51 -	8023	【小・中学校道徳②】学校における道徳教育と道徳科の授 業づくり(動画視聴)	- 55 -
9062	「愛着」に課題があると思われる児童・生徒の理解と対応 について【鳥取県教育センター】	- 51 -	8024	【特別活動】よりよい生活や人間関係を築き、自己実現を 図る特別活動～話し合い活動の充実をめざした授業実践の 工夫～	- 55 -
9063	「愛着」に課題があると思われる児童・生徒の理解と対応 について	- 51 -	8025	【全教科/マネジメント(とっとり学力・学習状況調査データ 活用)】令和8年度学力・学習状況調査を活用した学校マ ネジメント研修会	- 55 -
9064	これからの幼児教育に必要なことから	- 51 -	8026	【全教科/対話による深い学び】あそびが創造のはじまり～ “あそびじゅつ”に学ぶ、今こそ「子どもたちに育むべき力」 とは～	- 55 -
<p><b>〈鳥取連携〉</b></p>			8027	【発展研修(キャリア・デザイン)】教師という生き方～教師 としてのこれまでの道のり、そしてこれからの歩み～	- 55 -
8001	【幼児教育 園経営研修(園長・副園長)】幼児教育の質を 高める学校評価・園評価～元気の出る園づくりにつなげる ために～	- 52 -	8028	【小・中学校総合的な学習の時間】「質の高い探究的な学 び」を実現する授業づくり～次期学習指導要領を見据えて ～	- 56 -
8002	【小学校国語(学力向上)】学力向上研修(小学校国語科) ～全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり～	- 52 -	8029	【探究研修】自分なりの問いを立てて解決していく力を育む (PBL)授業づくり	- 56 -
8003	【中学校国語】学力向上研修	- 52 -	8030	【Google Workspaceスキル(基礎編)】やる気があれば大丈夫！ 「基本のき」から始めるGoogle Workspace for Education	- 56 -
8004	【小学校算数(学力向上)】学力向上研修(小学校算数科) ～全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり～	- 52 -	8031	【Google Workspaceスキル(応用・発展編)】校務や授業づ くりでのGoogle Workspace活用の実践	- 56 -
8005	【中学校数学】学力向上研修	- 52 -	8032	【理論で学ぶ情報活用能力の育成】児童・生徒が主体と なって学ぶ授業デザイン～情報活用能力で実現する主体 的な学び～	- 56 -
8006	【高等学校地理歴史・公民】探究的な学びを促す授業づく り	- 52 -	8033	【実践で学ぶ情報活用能力の育成】児童・生徒が主体と なって学ぶ授業実践～情報活用能力の育成を軸とした、 主体的な学びを実現するための教師の役割～	- 56 -
8007	【高等学校理科】探究的な学びで授業をアップデート～生 徒の思考を促す問いとは～	- 52 -	8034	【生成AIとリテラシー】生成AIは学びをどう変える？子ども の成長に寄り添う一歩先のICT実践	- 57 -
8008	【中学校理科】「問い」を見いだし、自ら学び続ける生徒の 育成をめざした授業づくり	- 53 -			
8009	【中学校理科】「問い」を見いだし、自ら学び続ける生徒の 育成をめざした授業づくり	- 53 -			

目次

8035	【善きICTの使い手となるデジタルシティズンシップ】AI時代の児童生徒が善き使い手となるメディア教育を考える	- 57 -
8036		
8037	【Gemini研修】まずは使ってみよう！初めての生成AI「Gemini」の実践	- 57 -
8038	【特別支援教育①(自立活動)】自閉症・情緒障がい学級における自立活動の指導の実際～多様なニーズに応じた指導と支援の工夫～	- 57 -
8039	【特別支援教育②(発達障がいⅠ)】語彙力を育て、「聞く・話す・読む・書く」を支える指導と支援	- 57 -
8040	【特別支援教育③(発達障がいⅡ)】「学び方」を変えれば実は苦手じゃない～子どもの「困った」に応える指導・支援の工夫～	- 57 -
8041	【特別支援教育④(ICT活用)】今日から使える！特別支援教育のICT活用術	- 58 -
8042	【教育相談】昨今の課題を抱えた子どもたちへの理解と支援～ネット・スマホ依存から見えてくる問題を中心に～	- 58 -
8043	【生徒指導】ポジティブな支援・指導(ポジティブ行動支援)で子どもたちを支える生徒指導	- 58 -
8044	【学級経営・ホームルーム経営】だれもが安心して過ごせる学級づくり～通常学級におけるユニバーサルデザインの視点から考える～	- 58 -
8045	【人権教育①】誰一人取り残されない教育の創造に向けて～「子どもの権利」の視点から問い直す～	- 58 -
8046	【人権教育②】部落差別の解消に向けて～これからの同和問題学習の進め方～	- 58 -
8047	【人権教育③】自尊感情を豊かに育む人権が尊重された環境づくりに向けて～「すごいね」「さすがだね」の言葉の影響から考える～	- 59 -
8048	【ふるさとキャリア教育】未定	- 59 -
8049	【図書館教育】ネットと生成AIの時代に、なぜ読書？なぜ図書館？～児童・生徒が未来を切り拓く探究学習を図書館が支援するために～	- 59 -
8050	【生命の安全教育】「からだの権利」の視点から、子どもを取り巻く性暴力について考える～特別な配慮を要する幼児児童生徒への支援を中心に～	- 59 -
8051	【防災教育】「防災福祉教育」で被災地の経験を学ぼう！～体験的な学習で子どもたちの「生きる力」を磨く～	- 59 -
8052	【博物館連携講座】教員のための博物館の日2026 in 鳥取県立博物館	- 59 -
8053	【国際教育】ESD、SDGsの視点から「誰ひとり取り残さない社会」を考える	- 60 -
8054	【消費者教育】デジタル社会における意思決定力を磨く～AI時代の情報リテラシー～	- 60 -
8055	【環境教育】「気候変動適応って何？」楽しみながら学ぶ気候変動教育の実践～すぐらく気候変動適応への道～	- 60 -
8056	【あいサポート】学校での合理的配慮の提供について～学習指導要領の次期改訂を見据えて～	- 60 -
	<b>〈埼玉連携〉</b>	
9521	読書活動推進講座	- 61 -
9522	管理職・特別支援教育マネジメント研修会	- 61 -
9523	学校における生成AI活用研修会	- 61 -
9524	学校における著作権研修会	- 61 -
9525	広報デザインのためのWebアプリケーション活用研修会	- 61 -
9526	高等学校地理歴史科、公民科の授業力を高める研修会—「歴史総合」「公共」の授業づくり—	- 61 -

9527	「楽しい授業づくり」音楽科研修会Ⅲ(小・中学校)	- 62 -
9513	図工・美術授業力向上研修会	- 62 -
9514	外国語教育における小・中・高等学校の接続を重視した授業力向上研修会	- 62 -
9508	小学校外国語専科指導教員による魅力ある授業づくり研修会	- 62 -
9528	国際理解教育実践研修～SDGsと多文化共生の視点による～	- 62 -
9529	技術・家庭科(技術分野)授業力向上研修会	- 62 -
9530	小学校家庭科・中学校技術家庭科(家庭分野)授業力向上研修会	- 63 -
9531	高等学校情報科進学指導を意識した授業づくり	- 63 -
9532	教諭等・学校組織マネジメント研修会	- 63 -
9533	地域とともに歩む学校づくりセミナー	- 63 -
9534	特別支援学校の養護教諭のための専門研修会	- 63 -
9535	特別支援教育～教員がつながるひろば～	- 63 -
9536	みんなで考える生徒指導・教育相談	- 64 -
9519	教育相談カウンセリング研修会	- 64 -
9537	管理職・「総合的な探究の時間」を考える研修会	- 64 -
9515	高等学校数学科・数学的活動の充実を目指す授業づくり研修会	- 64 -
9538	管理職・人材育成マネジメント研修会	- 64 -

〈教職経験年数に応じた研修〉

415	初任者研修
605	新規採用養護教諭研修
940	新規採用栄養教諭研修
1013	新規採用幼稚園教諭研修
988	新規採用小・中学校等事務職員研修
1034	新規採用寄宿舎指導員研修
942	新規採用県立学校実習教員研修
1085	フォローアップ研修(教諭・2年目)
1111	フォローアップ研修(教諭・3年目)
1086	フォローアップ研修(養護教諭・2年目)
1087	フォローアップ研修(栄養教諭・2年目)
720	教職経験6年目研修(教諭)
722	教職経験6年目研修(養護教諭)
1016	教職経験6年目研修(栄養教諭)
989	教職経験6年目研修(実習教員)
1166	教職経験6年目研修(寄宿舎指導員)
1195	中堅教諭等資質向上研修(教諭)
1196	中堅教諭等資質向上研修(養護教諭)
1197	中堅教諭等資質向上研修(栄養教諭)
1198	中堅教諭等資質向上研修(幼稚園教諭)
1200	専門性向上研修(寄宿舎指導員)

研修番号順のページ一覧が裏表紙にあります。

## 令和8年度 各研修の注意事項

### ○「教員」、「教職員」の表記について

「教員」、「教職員」の表記については、次のように定義する。

「教員」＝校長（園長）・教頭・副校長・主幹教諭・教諭・助教諭・  
 養護教諭・養護助教諭・栄養教諭・講師（常勤に限る）・  
 実習教員（実習主任・実習助手）・主任寄宿舎指導員・  
 寄宿舎指導員  
 「教職員」＝「教員」＋学校栄養職員・学校事務職員・学校司書

### ○研修会場について

複数の会場がある研修については、下記の表により該当する会場で受講すること。

東部会場									西部会場									
松江管内		出雲管内				隠岐管内			浜田管内					益田管内				
松江	安来	出雲	雲南	仁多	飯石	島前		島後	浜田	大田	江津	邑智		益田	鹿足			
松江市	安来市	出雲市	雲南市	奥出雲町	飯南町	海士町	西ノ島町	知夫村	隠岐の島町	浜田市	大田市	江津市	川本町	美郷町	邑南町	益田市	津和野町	吉賀町

### ○各研修の「概要」、「実施要項」について

**概要** 島根県教育センターのホームページに掲載する。

**実施要項** 島根県教育センター研修情報システム（実施要項では「研修情報システム」という）を通じて、実施の約3週間前に公開するので、各自でダウンロードすること。ただし連携講座はこの限りではない。

### ○受講に際して配慮が必要な場合について

手話通訳者の依頼や研修時の誘導等、受講に際して配慮が必要な場合は、出来るだけ早く、各研修・講座の担当者に連絡してください。（相談しながら個別に対応します。遠慮なくご連絡ください。）

### ○研修の欠席等について

研修を欠席・遅刻・早退する場合には、事前に管理職から担当課等に対して電話連絡をした後、すみやかに研修情報システムを通じて申請を行うこと。

### ○研修の変更について（管理職等・職務・テーマ研修）

管理職等・職務・テーマ研修について、やむを得ない事情で、各校長及び園長が受講者を変更したり、受講期日または受講会場を変更したりする場合は、事前に管理職から担当課等に対して電話連絡をした後、すみやかに研修情報システムを通じて申請すること。

### ○研修の修了の認定について

研修の全日程を修了した者を認定する。ただし、特別な事情があった場合は、研修日程の概ね3分の2以上を出席した者を認定する。

# 1 島根県教職員研修計画

## (1) 島根県の教職員として求められる基本的な資質能力

教職員として求められる基本的な資質能力は、普遍的でいつの時代にも求められるものと、時代の変化に対応してその時代時代に求められるものがある。社会の変化や時代のニーズに応える学校教育の実現には、教職員の職務に応じた資質能力の向上が不可欠である。職務に関わる専門的知識・技能の他、様々な課題に対応するための実践的指導力の向上を図るためには、常に探究心を持ち自主的に学び続ける力が求められている。また、学校組織の一員としてのコミュニケーション能力、他者と連携・協働する力も大切である。

そこで、島根県の教職員として求められる基本的な資質能力を次のように定める。

### 島根県の教職員として求められる基本的な資質能力

- 豊かな人間性と職務に対する使命感
- 子どもの発達への支援に対する理解と対応
- 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度
- 学校組織の一員として考え行動する意欲・能力
- よりよい社会をつくるための意欲・能力

## (2) キャリアステージに応じて求める姿と育成する資質能力

### ① 教育職員（教諭等）

「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針」においては、5つのキャリアステージを設けて、採用前段階から系統的かつ一貫性のある人材育成ができるようにしている。令和5年4月改訂では「探究・発展期」及び「充実・円熟期」における対象年数の区切りを変更するとともに、「充実・円熟期」については、きめ細かなキャリア形成を推進するために、前期と後期に区分した。また、令和6年4月改定においては、養護教諭・栄養教諭の専門性に基づく育成指標を示すことにした。

#### 【採用までに身に付けておいて欲しいこと】

新規採用された段階。教職課程認定を受けた大学等、養成段階での学修等を通して、教育職員として勤めるための素養や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けていることが必要である。

#### 【自立・向上期（1～5年目）】

新規採用時からおよそ5年目までの5年間の期間にあたり、教育職員として授業や学級経営等の実践的指導力を身に付けて自立し、向上心を持って成長していく基盤を固める期とする。

#### 【探究・発展期（6～15年目）】

およそ6年目から15年目までの10年間の期間にあたり、教育職員として意欲的に教育活動を実践し、得意分野を開発・探究していくなどにより専門的な知識及び技能の充実を図る期とする。

**【充実・円熟期[前期]（16年目～概ね25年目）】**

経験16年目以降から概ね25年目の期間にあたる。教育職員として様々な教育実践を重ねることで教科等の専門的知識及び技能を高めるとともに、主任やミドルリーダーとしての自覚や責任を持って教育活動を円滑に進める資質能力を高めていく期とする。

**【充実・円熟期[後期]（概ね26年目以降）】**

概ね経験26年目以降の期間であり、経験豊富で知見があるベテラン層の年代にあたる。教育職員として教科等の専門的知識及び技能をさらに高めていきながら、学校運営にも積極的に参画し、後進にも適切な助言を与えるなど人材育成を図っていく期とする。

また、この他に教育職員には「管理職」の職があり、それぞれに応じた研修を実施する。

なお、「自立・向上期」の1年目には、教育公務員特例法第23条に定められた初任者研修を他の職種とともに新任教職員研修として実施する。また、「探究・発展期」にあたる6年目に教職経験6年目研修を、11～13年目に教育公務員特例法第24条に定められた中堅教諭等資質向上研修を実施する他、実習教員・寄宿舎指導員については、11年目に専門性向上研修を実施する。

**② 学校事務職員**

「島根県公立小・中・義務教育学校事務職員人材育成基本方針」（R6.2改定）においては、5つのキャリアステージに応じた資質能力を明確にし、系統的な人材育成が図られるようにしている。後半（事務リーダー）のキャリアステージでは、学校運営への参画に加え、事務グループをまとめ、後進を指導する学校事務職員のリーダーとしての役割も求めたものとしている。

**【主 事】**

学校事務職員の職責を理解し、自主的・意欲的に学校事務に関する知識・技能を習得することで、正確に遺漏なく定型業務を進めることができる実務処理能力

**【主任主事】**

所属校の現状と諸課題を把握し、児童生徒の教育に関わる他者と連携・協働を図りながら、改善に向けた手立てと実践に取り組むことができる課題発見解決力

**【主 任】**

所属校や事務グループのミドルリーダーとして、若年層への支援・助言を中心となっていくことができるフォローシップ

**【事務主幹】**

総務・財務の高度な知識・経験を活用し、学校運営の中核的役割を果たすことができるマネジメント力

**【事務リーダー】**

学校事務のエキスパートとして、広域かつ中長期的な視点から学校の業務改善・学校事務職員の人材育成を推進することができる統括監督能力

## 管理職等の育成指標

管理職等の育成指標		主幹教諭	副校長・教頭	校長
1 高い教育理念と広い識見	①人間理解・人権意識	・子どもの実態やその背景の理解に努めるとともに、管理職等としての高い人権意識と特別支援教育への深い理解をもとに、一人一人の人格が大切にされる教育現場の実現に取り組むことができる。 *1		
	②職務に対する誇りと責任	・管理職等として必要な確固たる倫理観を持つとともに、教育に対する県民の期待を理解し、組織の責任者としての職責や義務を自覚して職務に取り組むことができる。 ・関係法の理念を十分理解し、教育職員等による児童生徒性暴力等を断固として許さず、子どもの尊厳を保持し、安全・安心な学校環境を整えることができる。		
	③学び続ける意欲	・国や県、市町村の教育施策等を理解するとともに、常に教育に関わる情報、社会情勢、地域の実態等に関心を持ち、積極的かつ謙虚な姿勢で研究と修養に努めることができる。		
2 学校経営	④学校経営ビジョン	・校長が示す学校経営ビジョンの実現を目指し、副校長・教頭を補佐しながら、創意工夫を活かして実践することができる。	・校長が示す学校経営ビジョンを分かりやすく教職員に伝え、教職員の共通理解のもと、組織をまとめ動かすことができる。	・長期的な視点に立ち、「魅力ある学校づくり」を目指した具体的な学校経営ビジョンを立てることができる。
	⑤リーダーシップ	・学校経営ビジョンの実現に向けて、教科・分掌の垣根を越えて、管理職とともに自らがりーダーとして教育活動を推進することで、組織を活性化させることができる。 ・ <b>【高等学校】</b> *2 グランドデザインにもとづく魅力化のPDCAサイクルをコンソーシアム等の協働体制を活かして構築するプロセスを学ぶことができる。	・学校経営ビジョンの実現に向けて、教職員の能力、個性が発揮されるよう、組織の主任等に適切に指示を出し、組織を活性化させることができる。 ・生活実態や学習等の状況を的確に把握・分析するとともに、関係者等の意見を集約し、解決策の実現に向けて校長を補佐することができる。	・学校経営ビジョンや課題に応じて、校内組織の再編成や適正な人事配置を行い、組織を活性化させることができる。 ・生活実態や学習等の状況を的確に把握・分析し、実態を踏まえたカリキュラム・マネジメントを推進しながら解決策の実現に向けて体制づくりをすることができる。
3 学校管理・運営	⑥職務規律の確保・危機管理	—	・校長の指導助言のもと、教職員の職務規律を確保することができる。 ・職務規律に関する校内研修の実施にあたっては、関係法令や最新の事例などの新しい知見を取り入れながら、説得力のある内容を提供することができる。 ・学校事故への対応を予め想定し、備えるとともに、緊急時には組織的に対応することができるよう校長を補佐することができる。	・関係法令や最新の事例などを踏まえながら、教職員の職務規律を確保することができる。 ・日頃から教職員一人一人との対話を重んじながら個々の状況を把握し、適切な指導助言を行うことができる。 ・学校事故への対応を予め想定し、備えるとともに、緊急時には学校の責任者として組織的に対応することができるよう、すみやかに適切な判断を下すことができる。
	⑦事務管理	—	・教育活動の実施を適切に管理するとともに、予算執行、施設設備維持について、事務職員と連携して適切に処理することができる。	・教育活動の実施、予算執行、施設設備維持について、適切に管理することができる。
4 人材育成	⑧指導育成	・学校課題や教員のニーズに応じた校内研修を積極的に推進してOJTの気運を高めながら人材育成に努めることができる。 ・人材育成の重要性を理解し、教職員に対してキャリアステージに応じた指導助言をすることができる。	・校長が示す育成方針のもと、必要な研修の機会を与えたり、校内での研修を効果的に進めたりすることができる。 ・中堅等の場を利用しながら、校内で指導的な役割を任せするなどリーダーとしての資質を育成する環境を整えることができる。	・育成指標のキャリアステージに基づいて教職員一人一人の育成方針を策定しつつ、対話しながら適切な研修の受講を促め、指導育成を行うことができる。 ・教職員個々の適性を見きわめながら、将来の管理職として相応しい人材を育成することができる。
	⑨適正な評価	—	・教職員一人一人を総合評価制度等の観点から踏まえて評価し、面接や他の機会を捉えて課題を具体的に認識させることができる。	・教職員一人一人を総合評価制度等の観点から踏まえて評価し、面接や他の機会を捉えて課題を認識させ、目指す方向を的確に示すことができる。
5 外部との連携・折衝	⑩保護者・地域・異校種との連携・協働	・保護者や地域社会と積極的に交わり、その思いや願いを的確に把握し、管理職と共有しながら、「開かれた学校づくり」を推進することができる。 ・ <b>【高等学校】</b> 地域資源(県内大学/地元企業/住民等)を校内に積極的に取り込み、地域協働の推進役として、高大連携を意図した取組を学校の実情に応じて行うことができる。	・保護者や地域社会と積極的に交わり、その思いや願いを的確に把握し、校長に報告するとともに、学校運営に活かすことができる。 ・幼小の連携を含め、学校段階間の系統性や円滑な接続を意識した教育活動を展開するため、組織の主任等に適切に指示を出したり、調整したりすることができる。	・保護者や地域社会と積極的に交わり、その思いや願いを捉え、学校経営に活かすことで魅力ある地域づくりに資することができる。 ・幼小の連携を含め、学校段階間の系統性や円滑な接続を意識した教育活動を展開することができる。
	⑪学校の説明責任・情報発信	・学校評価において、保護者や地域からの意見を積極的に受け入れ改善に努めるとともに、教育活動の成果や課題を校外と共有し、今後の活動に活かすことができる。	・学校評価において、保護者や地域からの意見を積極的に受け入れ改善に努めるとともに、教育活動の成果や課題を校外に向けて具体的に説明することができる。	・学校評価において、保護者や地域からの意見を積極的に受け入れ改善に努めるとともに、学校経営ビジョンや教育活動の成果や課題を校外に向けて明確に発信することができる。

\*1 この指標において「子ども」とは幼児・児童・生徒のことである。

\*2 高等学校に配置された主幹教諭のための指標である。

## 教諭等のキャリアステージに応じた育成指標

教諭等の育成指標					
キャリアステージ 資質能力	採用までに身に付けておいて欲しいこと *2	自立・向上期 (1～5年目)	探究・発展期 (6～15年目)	充実・円熟期 (16～概ね25年目) 【前期】 *3 【後期】	
		1 豊かな人間性と職務に対する使命感	①人間理解・人権意識 ②職務に対する誇りと責任 ③ふるさとを愛する心	・生命尊重・人権尊重の精神と、多様な価値観を尊重する態度を有している。 ・教育職員として必要な倫理観、職務に対する使命感・責任感を持ち、自分の将来のキャリアや求められる役割を認識しながら、変化に応じて常に学び続けようとしている。 ・危機管理の知識や視点を持ち、教育活動における事故・災害等に普段から備えている。 ・関係法の理念を十分理解し、教育職員等による児童生徒性暴力等を断固として許さず、子どもの尊厳を保持しようとしている。	・子どもの心身の発達やキャリア発達に対する理解を深め、個に応じた指導や学年等の集団指導を実践することができる。
2 子どもの発達への支援に対する理解と対応 *1	④生徒指導の推進 ⑤特別支援教育の推進	・発達段階を踏まえた子ども理解・子ども支援、キャリア発達など生徒指導に必要な基礎理論・知識を習得している。 ・子どもとのふれあいや観察を通して、様々な行動の内に潜む微妙な心の動き、キャリア発達を共感的に受け止め、良さや可能性を伸ばしながら、学年等の集団づくりを進めることができる。 ・特別な配慮や支援の必要な子どもの実態把握を行い、一人一人のニーズに応じた指導や支援についての計画を立て、実践することができる。	・子どもの心身の発達やキャリア発達に対する理解を深め、個に応じた指導や学年等の集団指導を実践することができる。 ・特別な配慮や支援の必要な子ども一人一人の支援計画・指導計画に基づき、学習上・生活上の支援の工夫、指導の実践を行うことができる。	・キャリア発達の視点をもまえ、子どもに組織的に対応するための知識や方法を身に付け、家庭や地域等と連携することができる。	・子どもに関わる様々な問題やキャリア発達への対応力を身に付け、学校の教育活動全体を通じた連携体制をつくりながら、子どもの自己実現の達成をめざして支援していくことができる。
<p>&lt;全キャリアステージに共通した指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ教育システムの理念、授業のユニバーサルデザイン化、合理的配慮の提供に関する考え方を踏まえて、教育活動を実践することができる。</li> </ul>					
3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度	⑥教科等の指導に関する専門性 ⑦ICTや情報の利活用 *4 ⑧社会の変化への対応	・教育課程の編成、教科等の指導方法に関する基礎理論・知識を習得している。 ・子どもとの心身の発達や学習過程に関する理解に基づいて、興味・関心を引き出す教材研究をしたり、学習者中心の授業となるよう工夫したりすることができる。 ・今まで学んできたICT活用や教育データ活用に関する基礎的知識・技能を教科等の指導や校務に積極的に取り入れながら活用することができる。	・教科等の専門的知識及び技能の習得に努めるとともに、カリキュラム・マネジメントの意義を理解し、その視点をもつて教科等を相互に関連させながら協働して授業研究を行うなど意図的に教育実践に取り組むことができる。 ・子どもの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組みなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業を行うことができる。	・教科等の専門的知識・技能及び態度を高め続けることができる。 ・教科等の相互関連や学校段階間の円滑な接続を推進した教育実践を行うことができる。 ・校内研修の中心的な役割を担うことができる。	・教科等の専門的知識・技能及び態度をさらに高め、後進に適切な助言を与えながら、人材育成に取り組むことができる。
<p>&lt;全キャリアステージに共通した指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校におけるICT活用の意義を理解し、教育活動の中で効果的に活用するとともに、他の教職員と共有し広めていくことができる。</li> <li>・子どもの情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するための授業実践を行うことができる。</li> </ul>					
4 学校組織の一端として考え行動する意欲・能力	⑨学校組織マネジメント ⑩他者との連携・協働	・学校教育の社会的・制度的・経済的理解に必要な基礎理論・知識を習得している。 ・集団で活動する際、自己を成長させようとする意欲や態度を有している。	・組織の一員としての役割を理解し、学校の課題に対応することができる。 ・経験豊かな教職員から多くのことを学ぶとともに、同僚と連携・協働しつつ、後進に助言を与えるなどして育成にも目を向けることができる。	・スクールリーダーとしての自覚や責任を持つとともに、企画力や調整力を発揮して教育活動を円滑に進めることができる。	・学校教育目標の達成を目指し、学校の運営・指導体制構築に積極的に参画することができる。
5 よりよい社会をつくるための意欲・能力	⑪地域資源の活用と地域貢献 ⑫合意形成に向けた議論の調整・促進	・学校教育活動を通して、地域社会に貢献することについて、自分なりの考えや意欲を有している。 ・子ども同士が話し合いの場面で、適切に働きかける力を有している。	・子どもと地域社会をつなごうとする意欲を持ち、地域と連携した学校教育活動を計画に基づいて実践することができる。 ・子ども同士が協働し、探究していく活動を円滑に実践することができる。	・学校外の様々な地域資源や機会を活用し、地域と連携した学校教育活動を効果的に実践することができる。 ・現実の社会や地域との関わりを意識しながら、子ども同士が議論したり、合意形成を図ったりするよう促すことができる。	・地域にある他の学校および幼児教育・保育施設や行政との連携・協働について、円滑な連携を基盤しながら企画力や調整力を発揮して、主体的・組織的に実践することができる。

\*1 この指標において「子ども」とは幼児・児童・生徒のことである。

\*2 「採用までに身に付けておいて欲しいこと」は、採用時における資質能力の目安として示した。

\*3 「充実・円熟期」の「前期」と「後期」の境目は概ね25年目を目安とするが、個々の教員の実態に応じて柔軟に運用してよいものとする。

\*4 指標の「ICTや情報の利活用」について、求められる資質能力と実態差がある場合には、技能に応じたキャリアステージを起点としつつ、可能な限り早期に自分のキャリアステージの資質能力を身に付けていくこととする。

養護教諭の専門性に基づく育成指標

キャリアステージ 領域・分野	採用までに身に付けて おいて欲しいこと *2	自立・向上期 (1～5年目)	探究・発展期 (6～15年目)	充実・円熟期 (16～概ね25年目) (概ね26年目以降)	
				【前期】*3	【後期】
保健管理	・学校保健安全法を理解し、保健管理に関する基礎的な知識・技術を習得している。	・救急処置、健康診断、健康観察、疾病管理・予防等の保健管理を通して子どもの健康実態を把握し、適切に対応することができる。	・自校の健康課題を的確に把握し、保健管理を学校保健計画に位置づけ、教職員や関係機関と連携して組織的に対応することができる。	・最新の知識や技能を習得し、保健管理の結果を効果的に活用し、自校の健康課題解決に向け、校内において指導的な役割を担うことができる。	・最新の知識や技能を生かして保健管理の充実を図り、自校の健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
保健教育	・専門性を生かした養護教諭の役割を理解し、学習指導要領に関する基礎的な知識を習得している。	・子どもの実態から健康課題を捉え、学校担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実践することができる。	・子どもの健康実態や生活実態から自校の健康課題を的確に把握し、その解決に向けた保健教育を計画、実践、評価、改善し、組織的に推進することができる。	・自校や地域の健康課題解決に向け、教育活動全体を通じて校内の関係者と連携を図りながら、発達の段階を踏まえた体力的に効果的な保健教育を推進することができる。	・最新の保健情報や知見等を活用して保健教育の充実を図り、自校の健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
健康相談・保健指導	・学校保健安全法における健康相談・保健指導の位置づけ及び発達の段階における健康課題とその対応について理解している。	・健康相談・保健指導の基本的プロセスを理解し、子どもの心身の健康課題や現代的健康課題との関連を踏まえて、必要な支援を行うことができる。	・子どもの心身の健康課題を的確に捉え、関係者が連携・協働する組織体制をつくり、健康相談・保健指導を通して効果的な支援を展開することができる。	・子どもの心身の健康課題に対応し、専門的観点を生かした健康相談・保健指導を行うとともに、学校内外の関係者との連携におけるコーディネーター的役割を果たすことができる。	・最新の保健情報や知見、関係者との連携を通して健康相談・保健指導を充実させ、自校の健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
保健室経営	・養護教諭の職務と役割、学校保健活動のセンター的機能果たす保健室の役割を理解している。	・学校教育目標を踏まえ、子どもの健康課題の解決に向けた保健室経営計画を作成し、計画に沿って実践することができる。	・学校教育目標を踏まえ、子どもの健康課題の解決に向けた保健室経営計画を基に、教職員と連携して組織的な保健室経営を実践することができる。	・学校教育目標の実現に向け、保健室経営計画を基に、評価・改善を図りながら、効果的に保健室経営を推進することができる。	・学校経営の観点に立つて保健室経営の充実を図り、学校教育目標の達成と健康課題解決につなげるとともに、地域においても後進を育成することができる。
保健組織活動	・保健組織活動の意義と学校・家庭・地域等の協力体制の重要性を理解している。	・家庭・地域等と連携し、子どもの健康課題解決に向けた保健組織活動を推進することができる。	・学校と家庭・地域等の実態を適切に把握・分析し、自校の健康課題解決に向け、計画的・組織的に保健組織活動を推進することができる。	・自校の健康課題や地域の健康実態を踏まえて家庭・地域等とネットワーク体制を構築し、保健組織活動の推進におけるコーディネーター的役割を果たすことができる。	・地域の特性や家庭の実態を踏まえて健康課題を捉え、校内外の関係者との連携を通して保健組織活動の充実を図るとともに、地域においても後進を育成することができる。

※養護教諭には、教諭等の育成指標「3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度 ⑥教科等の指導に関する専門性」に加え、その専門性に基づき、上記の資質能力が求められる。

栄養教諭の専門性に基づく育成指標

キャリアステージ 領域・分野	採用までに身に付けて おいて欲しいこと *2	自立・向上期 (1～5年目)	探究・発展期 (6～15年目)	充実・円熟期 (16～概ね25年目) (概ね26年目以降)	
				【前期】*3	【後期】
食に関する指導	給食の時間・教科等における指導	・教育活動全体を通して食育を推進するための基礎的な知識を習得している。	・学習指導要領や児童生徒の実態に基づいた指導の必要性を理解し、食育の視点を位置づけた指導ができる。	・学校教育活動全体を視野に入れ、指導体制を整えて効果的に食育推進組織の計画、実践、評価し、改善を図ることができる。	・地域、近隣の学校などとの連携・調整を図り、市町村の食育推進組織の計画や推進に関して主体的に関わることができる。
	個別の相談指導	・児童生徒の個別の栄養相談の重要性を理解している。	・食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有し、個々の状況に応じて適切に対応できる。	・関係機関と連携しながら、個別の教育支援計画に基づき、個別の指導計画の作成に参画し、活用することができる。	・食に関する健康課題への予防策や対応策について校内や地域で積極的に発信し、関係者の課題への理解や意識の向上に向けた取組を推進することができる。
学校給食の管理	栄養管理	・学校給食の教育的意義を理解し、適切な栄養管理に関する基礎的な知識を有している。	・学校給食実施基準に基づくとともに、食品構成を考慮した献立を作成することができる。	・児童生徒の成長や地域の特性を踏まえた栄養管理を行うとともに、適切な評価や改善を行うことができる。 ・調理従事者や施設に合わせた献立を作成し、調理指導ができる。	・児童生徒の実態に沿った栄養管理の在り方について関係者等と共有し、課題解決のための指導助言を行うことができる。 ・給食管理を食に関する指導と一体化した視点から評価、改善し、学校や地域の特色に応じた献立作成をすることができる。
	衛生管理	・衛生管理の重要性について理解し、適切に実施するための意欲を有している。	・学校給食衛生管理基準に基づき、具体的な対応方法を考え、指導することができる。	・学校給食施設の設備や調理従事者の状況を踏まえ、適切に学校給食衛生管理基準を適用することができる。	・調理作業や施設の衛生管理について課題を的確に捉え、改善するとともに、学校における衛生管理などを含め、適切な指導・助言ができる。 ・衛生管理に関する高い専門的知識を生かした実践を行うことに対して指導的役割を果たすことができる。

※栄養教諭には、教諭等の育成指標「3 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度 ⑥教科等の指導に関する専門性」に加え、その専門性に基づき、上記の資質能力が求められる。

## 学校事務職員の育成指標

キャリアステージ 資質能力		主事	主任主事	主任	事務主幹	事務リーダー
		1 豊かな人間性と職務に対する使命感	人間理解・人権意識  職務に対する誇りと責任  ふるさとを愛する心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命尊重・人権尊重の精神と、多様な価値観を尊重する態度を有している。</li> <li>・学校事務職員として必要な倫理観、職務に対する使命感・責任感、学び続ける意欲を有し、自分の将来のキャリアや求められる役割を意識しながら、変化に応じて常に学び続けようとしている。</li> <li>・危機管理の知識や視点を持ち、教育活動における事故・災害等に普段から備えている。</li> <li>・関係法の理念を十分理解し、教職員による児童生徒性暴力等を断固として許さず、子どもの尊厳を保持しようとしている。</li> <li>・地域の自然・歴史・文化・伝統を理解し尊重する態度、ふるさとを愛する人材育成への意欲を有している。</li> </ul>		
2 職務にかかわる専門的知識・技能及び態度	法制度の理解と運用  財務マネジメント  教育・校務の情報化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務の根拠となる法制度の基礎基本を正しく読み取り、理解した上で実務を処理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務の基本的な知識を身に付け、迅速・正確に実務を遂行することができる。</li> <li>・財務の知識と経験に基づき、自校の現状と課題把握に努めつつ、迅速・正確に実務を遂行することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務の根拠となる法制度や実例を幅広く理解し、自校の業務改善等に応用することができる。</li> <li>・財務に関する高度な知識と経験に基づき、自校の改善計画の提案・実践等を通じたマネジメントに取り組むことができる。</li> <li>・教育活動や校務事務の情報化の推進について理解を深め、ICT機器・周辺機材の整備等を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務の根拠となる法制度や実例を幅広く把握し、自校や事務グループ内の学校への情報提供や助言を行い、リーガルマインドの定着やコンプライアンスの確保に寄与することができる。</li> <li>・財務に関する高度かつ幅広い知識と経験に基づき、自校及び事務グループ内の学校の改善計画策定・提案・実践等を通じたマネジメントを行うことで、健全化・安定化を図ることができる。</li> <li>・教育活動や校務事務の情報化の推進について理解を深め、自校及び事務グループ内の学校におけるICT機器・周辺機材の整備等を通じて、デジタル環境の充実に向けた支援を行うことができる。</li> </ul>	
3 組織の一員として考え行動する意欲・能力	学校  事務グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長が示す学校教育目標達成に向け、他教職員と関わりながら学校事務職員が果たす役割を理解し、行動することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長が示す学校教育目標達成に向け、他教職員との協働により主体的に学校運営に参画することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長が示す学校教育目標に対して、学校事務職員としての専門的な立場から学校運営に参画することができる。</li> <li>・事務グループ内で他の職員から学ぶ意欲を持ち、学んだことを日々の業務に活かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務グループで中心的な役割を担い、業務改善・効率化及びOJTによる人材育成を推進することができる。</li> <li>・事務グループで中核的な役割を担い、他機関との連携による業務改善・効率化推進、グループ員への指導助言・人材育成等を行うことができる。</li> </ul>	
4 子どもの発達の支援に対する理解と対応 *1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達や子どもを取り巻く環境、教育活動について理解し、必要な教育環境整備を行うことができる。</li> <li>・特別支援教育について理解し、一人一人のニーズに応じた指導・支援に対する環境整備を推進することができる。</li> <li>・子どもの発達や子どもを取り巻く環境、教育活動について理解を深め、主体的に教育環境整備についての提案を行うことができる。</li> <li>・特別支援教育の推進について理解を深め、校内における多様な学びの場の構築に向けた支援体制・環境整備について適切な提案を行うことができる。</li> </ul>					
5 よりよい社会をつくるための意欲・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育活動を通して子どもと地域社会をつなごうとする意欲を持ち、地域資源についての理解を深めることができる。</li> <li>・学校教育活動を通して子どもと地域社会をつなごうとする意欲を持ち、積極的に地域と関わりを持つことができる。</li> <li>・学校教育活動を通して子どもと地域社会をつなごうとすることができる。</li> <li>・学校教育活動と学校外の様々な地域資源や機会を結び付け、効果的に子どもと地域社会をつなごうとすることができる。</li> <li>・地域にある他の学校や行政との連携・協働について、企画力や調整力を発揮して、主体的・組織的に進めることができる。</li> </ul>					
1 この指標において「子ども」とは児童・生徒のことである。 2 定年引上げ者及び暫定再任用者については職階に応じた役割を担い、任用校の業務を最優先としつつ、それまでに培った知識・経験等を活かして、後進にアドバイザー・ノウハウ継承等の役割も期待する。						

### (3) 研修の種類

#### ① 県教育委員会が実施する研修

この研修は、今日の社会的な要請等にも配慮しながら、職務に応じた資質能力を高めるのに必要な研修機会を提供するもので、「島根県の教職員として求められる基本的な資質能力」を踏まえ、必要性が高い研修の重点化を図った上で、その内容から「喫緊の課題や県の教育課題・実態に対応する研修」と「参加者の自主的な参加による個々の資質能力向上をねらいとした研修」に大別し、次のように分類する。

##### ア 喫緊の課題や県の教育課題・実態に対応する研修

県の教育課題に対応し、全教職員に必須とする研修や各学校のリーダーを養成する研修であり、参加者を特定したり、テーマを特定したりして行う。

##### 教職経験年数に応じた研修

教職員研修の基幹として、教職員としての生涯にわたる研究と修養の観点に立ち、教職経験年数に応じて、専門職としての職務遂行に必要な知識・技能・態度を習得させるために行う新任教職員研修（初任者研修及び新規採用教職員研修）、フォローアップ研修及び教職経験者研修。

##### 管理職等研修

各学校の管理職等に対し、経験年数に応じた学校運営上必要な知識・技能の習得及び自覚の向上等を目的として行う研修。

##### 職務研修

職務遂行上必要な知識・技能の習得や校内のリーダーとしての自覚の向上等を目的として、職務や分掌上の校務に応じて行う研修。

##### テーマ研修

社会の変化に対応するための教育課題や、県教育委員会の喫緊の課題を解決するために行う研修。

##### 派遣研修

県の教育課題を解決するために適任者を県教育委員会が派遣する研修。

#### イ 参加者の自主的な参加による個々の資質能力向上をねらいとした研修

##### 能力開発講座

社会の変化に対応した教育を行うために、教職員が自主的に参加し、資質能力の向上を図る研修。

#### ② 学校や教育研究団体、市町村教育委員会等が実施する研修

この研修は、基本的に個々の教職員の自主的・主体的な研修意欲に基づいた研修であり、県教育委員会としてこの研修を奨励し、支援体制を整備する。

各学校が実施する研修、教育研究団体等が実施する研修、市町村教育委員会が実施する研修、教職員が個人的に実施する研修がある。

なお、各市町村教育委員会においては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第45条」の規定に基づき、所管する学校の教職員に対して、服務監督者として、それぞれの地域の実態に応じて必要な内容の研修を行っているが、県教育委員会が協力を求め、研修の有機的な関連を図る必要がある。

#### **(4) 県教育委員会が実施する研修と校内支援等の方針**

##### **① 研修観の転換を図った研修の質の向上と効果検証**

参加者が主体的に学びを深めることができるよう、対話やリフレクション等を重視した研修の質の向上を図る。

また、一つ一つの研修サイクルを効果的に機能させ、研修と指導、校内人材育成との一体化を図る。そのため、研修の重点・精選化を図り、その質をより一層向上させる。

あわせて、研修のねらいをより明確にし、研修後の校内実践や普及を促すシステムを構築する。そして、その成果を効果的に検証し、事後の指導や研修の改善に活かす。

なお、これらの研修が系統的・体系的に実施できるように、研修推進に係る組織を島根県教育センターに置き、機能の強化と連携推進を図る。

さらに、教職員がこれまでの学習履歴や、自らに対する評価等を踏まえて、学校管理職等との積極的な対話を踏まえながら、主体的に学ぶこと、教職員においても個別最適な学びと協働的な学びを進めていくこと、等の視点から研修の改善を図る。

##### **② 教職経験年数に応じた研修の改善**

新任教職員研修、教職経験6年目研修、中堅教諭等資質向上研修及び専門性向上研修が系統的に実施されるよう、研修目的や内容を整理する。

新任教職員研修は、他者と協働し課題に取り組む経験を積むことができるよう、国立三瓶青少年交流の家を活用した宿泊研修を取り入れる等、協働的に取り組む研修の充実を図る。

また、中堅教諭等資質向上研修、専門性向上研修は、探究心を持ちつつ自律的に学び続けるきっかけとなるよう、より対話型、より探究型の研修に変更する、

さらに、県教育委員会が行う校外研修等と校内研修・校内人材育成が一体的に行われるよう指導体制の整備を行うとともに、校内研修の支援強化を図る。

##### **③ 管理職等研修の充実**

学校運営の核である管理職等が、マネジメント力を高めリーダーシップを発揮して学校運営及び人材育成を行えるよう、日常の教育実践を基にした、より実践的な内容・方法で研修を実施する。

また、経験年数に応じた段階的な研修を初任段階に重点的に課したり、管理職個々が設定した課題に応じて選択する研修（管理職セレクト研修）を実施したりする。

##### **④ 学校事務職員研修の充実**

学校事務職員が主体的に学校運営に参画することで、教育活動はよりよいものになっていく。そのことは教育の質の向上にもつながることであり、学校事務職員においても学び続ける姿勢が期待されている。

このことを踏まえ、職階に応じた研修及び学校事務職員選択研修の充実を図る。

##### **⑤ 研修の重点化**

学校マネジメントを中心とした研修内容を設定し、特にミドルリーダー育成をねらいとした研

修を実施する。また、知識伝達型の講義についてはオンデマンド研修への移行を進め、集合型研修における対話型研修の充実を図る。

職務研修は、当該職務の新任段階に重点的に研修を課し、職務に対する専門的な知識や技能の習得を図る。その後は、個人の実態に即した主体的な研修や管理職等による人材育成が的確に行えるよう支援を行う。

テーマ研修は、社会の急激な変化に対応するための教育課題や県の喫緊課題を解決するために、教職員全員に広めることが必要な内容を焦点化して実施する。さらに、地域や学校の実態に合わせた研修運営への積極的な転換を図るとともに、能力開発研修との整理・統合を進める。

能力開発研修は、教員一人一人が自らの課題に基づいて自主的・主体的に自己の職能レベル向上を目指す研修とする。年度当初設定した教職員評価システムの自己目標に基づいて選択するように促すとともに、研修の目的や内容が明確なものとなるよう努める。また、研修ニーズへの対応や研修機会の拡大を図るため、鳥取・島根連携講座や埼玉連携講座、島根大学との連携による共催研修の実施の拡充を図る。

## ⑥ 校内研修等の支援強化

学校が自走し、学び続ける教職員の育成が計画的、主体的に推し進められるよう、校内研修や教育研究団体等が行う研修に対して、支援に努める。

ア 各学校の校内研修への支援

(出前講座、要請訪問、継続型学校訪問指導、校内研究・研修に係る訪問指導、講師派遣等)

イ 校内研修の充実や授業研究の改善に関する研修の実施

ウ 教育研究団体等への支援(出前講座、研究・研修に係る訪問指導、情報提供等)

出前講座、要請訪問、訪問指導については、県教育委員会の一体的な実施に向け、組織や運営方法の整理を行う。また、学校や教職員のニーズに対応するため、出前講座のテーマ拡充、申し込み方法等の改善を進める。

この他、教育研究団体等との有機的な連携・協力を図るため、連絡を緊密にし、相互の研修推進に努める。

また、市町村教育委員会に積極的に情報を提供し、研修の有機的な関連を図るよう求める。

## ⑦ 自己啓発への支援

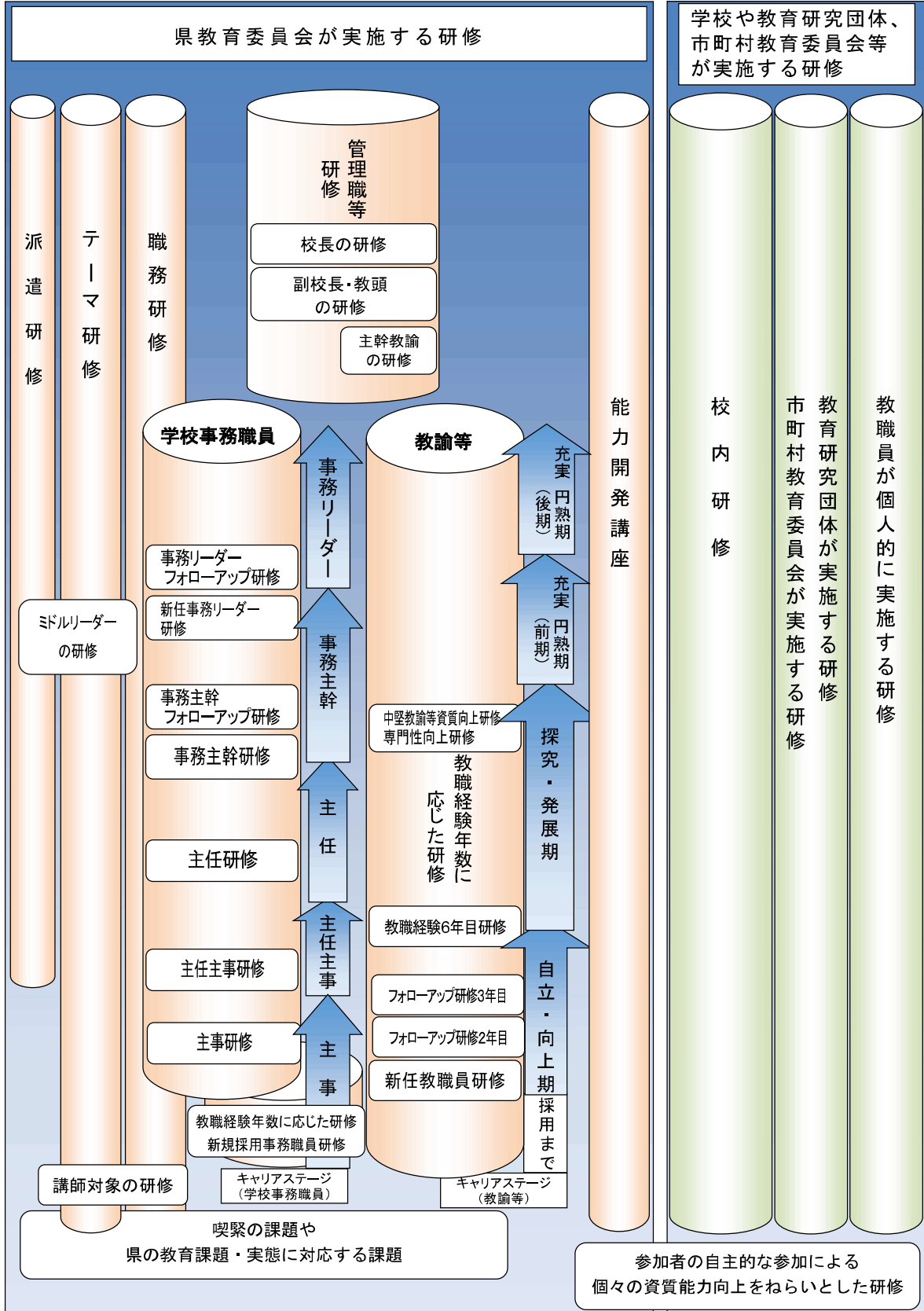
教職員が課題意識をもって個人的に研修を行ったり、研究を深めたりする自己啓発について支援するために、研修情報システム「教職員学びサポート」等を活用して、研修動画等の研修の資料を積極的に情報提供する。また、教職員評価システムの自己目標管理が、学校管理職の人材育成、教育センター等の校外研修と一体的に機能するように図る。

## ⑧ 派遣研修

派遣研修には、**長期社会体験研修**や**大学院派遣**、**海外派遣**、**中央研修派遣**、**教育センター長期研修**等があるが、いずれも県教育委員会の課題に基づいて、教職員を派遣する。

## 2 島根県教職員研修体系

「島根県公立学校教育職員人材育成基本方針」「島根県公立小・中・義務教育学校事務職員人材育成基本方針」に基づき、島根県教職員研修の体系を図に示す。



### 3 令和8年度に実施する研修・講座一覧

#### (1) 教職経験年数に応じた研修

研修番号	研修名	主管	
415	初任者研修	教育センター	
605	新規採用養護教諭研修		
940	新規採用栄養教諭研修		
1013	新規採用幼稚園教諭研修		
988	新規採用小・中学校等事務職員研修		
1034	新規採用寄宿舎指導員研修		
942	新規採用県立学校実習教員研修		
1085	フォローアップ研修（教諭・2年目）		
●1111	フォローアップ研修（教諭・3年目）		
1086	フォローアップ研修（養護教諭・2年目）		
1087	フォローアップ研修（栄養教諭・2年目）		
720	教職経験6年目研修（教諭）		
722	教職経験6年目研修（養護教諭）		
1016	教職経験6年目研修（栄養教諭）		
989	教職経験6年目研修（実習教員）		
1166	教職経験6年目研修（寄宿舎指導員）		
1195	中堅教諭等資質向上研修（教諭）		
1196	中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）		
1197	中堅教諭等資質向上研修（栄養教諭）		
1198	中堅教諭等資質向上研修（幼稚園教諭）		
1200	専門性向上研修（寄宿舎指導員）		
1262	中堅研修（幼児教育施設）		島根県幼児教育センター

#### (2) 管理職等研修

研修番号	研修名	主管
1239	小・中学校等校長学校経営実践研修	島セ(企画・研修S) 学校企画課
1240	小・中学校等教頭学校運営実践研修	
1118	管理職研修（新任校長）	
1119	管理職研修（2年目校長）	
1120	管理職研修（新任副校長・新任教頭）	
1121	管理職研修（2年目副校長・2年目教頭）	
1122	管理職研修（3年目副校長・3年目教頭）	
1123	主幹教諭研修（新任）	
1236	主幹教諭研修（2年目）	
1263	管理職研修（幼児教育施設）	

#### (3) 職務研修

研修番号	研修名	主管
1168	生徒指導主任・主事等研修（義務）	学校教育課（子ども安全支援室）
1169	生徒指導主事研修（県立学校等）	
1170	学校安全（災害安全）研修	
1172	学校安全（交通安全）研修	
628	養護教諭研修	保健体育課（健康づくり推進室） 島根県教育センター
843	栄養教諭研修	
1226	新任等学校栄養職員職務研修	
1227	新任等養護助教諭職務研修	島セ（企画・研修S） 保健体育課（健康づくり推進室）
1327	教職経験6年目研修（養護教諭）スキルアップ研修	
1328	教職経験6年目研修（栄養教諭）スキルアップ研修	島セ（企画・研修S） 学校教育課（高校教育S）
1223	県立学校道徳教育研修	

## (3) 職務研修

研修番号	研修名	主管	
478	小・中学校教務主任研修	島セ（企画・研修S）	
655	小・中学校研究主任等研修		
1129	新任講師等研修		
963	小・中学校事務職員新任事務リーダー研修		
971	小・中学校事務職員主事研修		
1135	小・中学校事務職員主任主事研修		
1149	小・中学校事務職員事務リーダーフォローアップ研修		
1148	小・中学校事務職員事務主幹フォローアップ研修		
1264	数理枠採用5年目研修及び6年目研修		
1345	英語枠採用5年目研修及び6年目研修		
1265	新任臨時的任用等学校事務職員研修		
1297	新任学校図書館担当者研修		
1266	教育課程デザイン研修		学校教育課（高等学校教育推進S）
1267	ICT教育の基盤に係る管理研修		教育連携推進課（教育DX推進室） 学校教育課（高等学校教育推進S）
1268	ICT活用推進リーダー教員研修	学校教育課（高等学校教育推進S） 教育連携推進課（教育DX推進室）	
858	小・中学校特別支援学級、通級による指導新任担当教員研修	島セ（教育相談S）	
919	新任特別支援教育コーディネーター研修		
1329	新人人権教育担当主任等研修	人権同和教育課	
1270	学校・福祉連携推進教員研修		
1167	特別な支援のための非常勤講師（にこにこサポート事業）研修	特別支援教育課	
1182	特別支援教育専門性向上研修		
1255	通級による指導担当教員等研修		
1305	医療的ケア児担当者研修		

## (4) テーマ研修

研修番号	研修名	主管
1131	講師等対象授業づくり研修	島セ（企画・研修S）
1293	中学校数学科教員リーダー育成研修	
1241	中学校体育教員（領域）研修	保健体育課（学校体育S）
886	中・高種目別指導者研修	
615	中・高等学校体育実技研修	
616	小学校体育実技研修	島根県幼児教育センター
1185	保育教諭・幼稚園教諭・保育士合同研修	
1202	幼小連携・接続研修	学校教育課（義務教育推進室） 島根県教育センター
1144	日本語指導が必要な児童生徒教育研修	
1326	学びの根っこをぐんぐん伸ばすプロジェクト「学びの基盤に関する調査」研修	学校教育課（義務教育推進室）
1229	高等学校探究学習担当者研修	学校教育課（キャリア教育S）
1330	小・中学校特別支援教育コーディネーターアドバンス研修	島セ（教育相談S）
1186	ミドルリーダー育成研修	浜セ（研究・研修S） 学校企画課
1176	複式学級新任担当者研修	浜セ（研究・研修S）
1278	ゼロから学びたい先生のための教科教育研修（中学校免許外教科：音楽、美術、技術・家庭、保健体育編）	
5002	若手教員授業力向上セミナー	
1277	ふるさと教育研修	社会教育課

## (5) 派遣研修

研修番号	研修名	主管
1019	島根県現職教員研修	学校企画課
1343	職階別中央研修	
1344	探究型中央研修	
670	教員長期社会体験研修	
671	島根大学大学院派遣	
1320	学校組織マネジメント研修	学校企画課・教育センター

## (5) 派遣研修

研修番号	研修名	主管
1321	道徳教育推進研修	学校教育課
686	外国人児童生徒等に対する日本語指導者養成研修	
688	産業・情報技術等指導者養成研修	
689	キャリア教育指導者養成研修	
712	産業教育実習助手研修	
717	学校農業クラブ指導者養成講座	
787	伝統音楽指導者研修会	
1323	カリキュラム・マネジメント研修	
955	美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修	
1180	小学校における外国語教育指導者養成研修	
1324	幼児教育専門研修	
1325	教師の英語力・指導力の向上のための実践オンライン研修	
1349	県立高等学校教諭を対象とした海外先進校への短期派遣プログラム	
674	特別支援教育専門研修	
1179	高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会	
1306	特別支援学校寄宿舎指導実践協議会	
1307	特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会	
1308	視覚障害リハビリテーション研修会	
696	体育・保健体育指導力向上研修(西部ブロック) (旧西部地区学校体育指導者中央講座)	保健体育課
949	健康教育指導者養成研修	
1164	食育指導者養成研修	
1238	体力向上マネジメント指導者養成研修	
1261	人権教育推進研修	人権同和教育課
1317	拉致問題に関する教員等研修	
1163	学校安全指導者養成研修	学校教育課(子ども安全支援室)
1257	生徒指導基幹研修	
1258	教育相談基幹研修	

## (6) 能力開発講座

分類	研修番号	研修名	主管
教科等	113	小学校算数科教育講座	島七(企画・研修S)
	362	小学校家庭科教育講座	
	528	小中学校国語科書写実技講座	
	815	中・高等学校国語科教育講座	
	816	中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科教育講座	
	817	中・高等学校数学科教育講座	
	887	中・高等学校外国語教育講座	
	1035	小学校社会科教育講座	
	1136	小学校理科教育講座	
	1154	高等学校理科教育生物講座	
	1280	小学校道徳教育講座	
	1279	小学校理科教育(基礎・基本)講座	
	1282	中学校理科教育オンライン講座	
	1151	中学校理科教育講座	
	1231	小学校外国語教育講座	
	751	小・中学校「総合的な学習の時間」講座	
	1342	高等学校産業教育 授業デザイン講座	
	205	高等学校産業教育実技(工業)講座	島七(企画・研修S) 学校教育課(キャリア教育S)
	306	高等学校産業教育実技(水産)講座	島七(企画・研修S)、学校企画課
	255	小学校国語科教育講座	浜七(研究・研修S)
	398	小学校生活科教育講座	
	781	中・高等学校音楽科教育講座	
	1137	小学校音楽科教育講座	
	1300	小学校特別活動講座	
	1301	中学校特別活動講座	
	639	小学校図画工作科教育講座	
	1256	中・高等学校美術教育講座	
1153	高等学校理科教育化学講座	島七(研究・情報S)	
862	中学校技術教育講座		
1346	共通教科情報「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」講座	学校教育課(高等学校教育推進S)	

(6) 能力開発講座

分類	研修番号	研修名	主管
教育課題	1235	学校図書館を活用した授業改善講座	浜セ（研究・研修S）
	1347	健康教育実践講座	保健体育課（健康づくり推進室）
	1206	就学前人権教育講座	人権同和教育課
	1284	国立療養所長島愛生園訪問研修	
	1331	人権教育講座	
教育の情報化	1189	AI時代のプログラミング教育実践講座	島セ（研究・情報S）
	1286	校務改善のための教育データ活用講座	
	1287	クラウドの強みを生かした授業デザイン講座	
	1288	子どもが主体のコンテンツ活用講座～NHK for schoolを中心に～	
	1289	AI時代の教育情報セキュリティ講座	
	1290	児童生徒が自ら考える力を高める！情報モラル教育実践講座	
	1291	授業で育み活かす！子どもの情報活用能力育成講座	
1332	校内の情報化を進めたい教員のためのICT活用推進実践講座		
生徒指導・教育相談・特別支援教育	921	不登校の理解と支援講座	島セ（教育相談S）
	1298	子ども理解と支援講座	
	1100	教職員のかかわる力を高める実践講座	
	1333	愛着（アタッチメント）形成に課題を抱える子どもの理解と支援講座	
	1335	通常の学級における多様な学びを支える基礎講座	
	1337	特別支援学校センター的機能担当者実践講座	浜セ（相談S）
	1338	学びが変わる！知的障がいのある子どもの理解と授業づくり講座	
	1334	発達障がいのある子どもの理解と特別支援学級の授業づくり講座	
	1336	明日からの支援に生かす！特別支援学級・通級による指導担当のための実践講座	
	1339	「個別の教育支援計画」でつなげる支援・つながる支援講座	
	1303	いじめ・不登校を防ぐ！学級づくり講座	
	1348	教育相談！みんなでスキルアップ	
	1341	生徒指導の4つの視点から考える子どもの自己実現支援講座	
	1194	教育法規の基礎講座	
1218	ファシリテーション講座		
島大連携	9019	図画工作科の授業と教材開発	島根大学・島根県教育センター
	9020	小学校社会科の授業デザインと教材開発	
	9021	教育政策から考える多様な背景を持った子供たちの就学・進学保障【現職教員研修と共同開講】	
	9022	地域問題解決型の総合的な学習・探究の時間の開発	
	9023	教師のキャリア【現職教員研修と共同開講】	
	9024	学校現場のメンタルヘルス～島根大学式働き方タイプ尺度を生かして～	
	9025	生徒同士をつなぎ、自治的な力を育むことで、いじめの未然防止に取り組んだ中学校の実践に学ぶ	
	9026	障害のお子様を養育されている保護者の「語り」からの学び【鳥取県教育センター】	
	9030	発達障害のある児童にかかわるいじめがなぜ重大事態に至ったのか	
	9032	ICT活用の可能性	
	9033	地域とともにある学校経営【現職教員研修と共同開講】	
	9037	英語授業における多様な子どもたちへの工夫と支援	
	9038	英語授業における多様な子どもたちへの工夫と支援【鳥取県教育センター】	
	9039	小学校「外国語活動」「外国語科」の理論と実践【鳥取県教育センター】	
	9040	子ども理解とかかわり～子どもの心を育てる営み～	
	9043	音楽科の「探究的な学び」を構想する	
	9045	英語学習における学びの多様性と、授業での工夫を考える（理論編）	
	9046	Q-U調査を活用した児童生徒理解、学級集団理解に基づく教育実践のあり方	
	9048	共生を実現する学校について考える～多様性（いろいろ）の尊重と凝集性（まとまり）の両立を目指して～	
	9049	中学校技術・家庭科技術分野の問題解決のアップデート	
	9050	地理を専門としない教員のための地理・地図学習の基礎	
	9051	アセスメントの重要性と多機関連携の在り方	
	9053	UDLに基づく中学校・高等学校数学科の指導	
	9055	支援につなげるための不登校理解～早期支援に焦点をあてて～	
	9057	自立活動と個別の指導計画の基礎・基本	
	9058	子どもの主体的な学びを実現する道徳科の授業づくり（中学校向け）	
	9059	漢字学習の評価と支援について考える	
	9060	教師の多様性を活かすための学校の変革とリーダーの役割【現職教員研修と共同開講】	

(6) 能力開発講座

分類	研修番号	研修名	主管
島大連携	9061	地域社会とつながるためのインクルーシブ教育【現職教員研修と共同開講】	島根大学・島根県教育センター
	9062	「愛着」に課題があると思われる児童・生徒の理解と対応について【島根県教育センター】	
	9063	「愛着」に課題があると思われる児童・生徒の理解と対応について	
	9064	これからの幼児教育に必要なことから	
鳥取連携	8001	【幼児教育 園経営研修（園長・副園長）】幼児教育の質を高める学校評価・園評価～元気の出る園づくりにつなげるために～	鳥取連携
	8002	【小学校国語（学力向上）】学力向上研修（小学校国語科）～全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり～	
	8003	【中学校国語】学力向上研修	
	8004	【小学校算数（学力向上）】学力向上研修（小学校算数科）～全国学力・学習状況調査を活用した授業づくり～	
	8005	【中学校数学】学力向上研修	
	8006	【高等学校地理歴史・公民】探究的な学びを促す授業づくり	
	8007	【高等学校理科】探究的な学びで授業をアップデート～生徒の思考を促す問いとは～	
	8008	【中学校理科】「問い」を見いだし、自ら学び続ける生徒の育成をめざした授業づくり	
	8009	【中学校技術】「情報」を意識した授業づくり～次期学習指導要領を見据えて～	
	8010	【小・中学校書写、高等学校書道】主体的な学びを実現する書写・書道の授業づくり	
	8011	【中・高等学校美術】アーティストに学ぶ“抽象表現”～発想・構想の広がりを経験してみることをとおして～	
	8012	【小学校音楽】子ども一人ひとりが主役の授業づくり～子どもの思いを引き出し、表現につなげる器楽活動のために！～	
	8013		
	8014	【小・中・高・特別支援学校体育】水泳が苦手な児童生徒への効果的な指導方法～安心・安全な水泳学習の実施に向けて～	
	8015		
	8016		
	8017	【小学校社会】探究を楽しむ！子どもが社会的な見方・考え方を働かせる社会科の授業づくり	
	8018	【プログラミング教育】プログラミング的思考を育むとは？～プログラミング体験を通して考える授業づくり～	
	8019	【小学校外国語活動・外国語】中学校への架け橋を築く！小学校外国語「出口の姿」と評価のあり方	
	8020	【高等学校英語】生成AI時代に必要な英語力を育む教師の役割とは？	
	8021	【高等学校工業】次世代の「ものづくり」教育とは？～課題研究を深化させる探究活動～	
	8022	【小・中学校道徳①】「深い学び」を実現する道徳科の授業づくり～子どもの考えや想いを引き出す指導と展開～	
	8023	【小・中学校道徳②】学校における道徳教育と道徳科の授業づくり（動画視聴）	
	8024	【特別活動】よりよい生活や人間関係を築き、自己実現を図る特別活動～話し合い活動の充実をめざした授業実践の工夫～	
	8025	【全教科/マネジメント（とっとり学力・学習状況調査データ活用）】令和8年度学力・学習状況調査を活用した学校マネジメント研修会	
	8026	【全教科/対話による深い学び】あそびが創造のはじまり～“あそびじゅつ”に学ぶ、今こそ「子どもたちに育むべき力」とは～	
	8027	【発展研修（キャリア・デザイン）】教師という生き方～教師としてのこれまでの道のり、そしてこれからの歩み～	
	8028	【小・中学校総合的な学習の時間】「質の高い探究的な学び」を実現する授業づくり～次期学習指導要領を見据えて～	
	8029	【探究研修】自分なりの問いを立てて解決していく力を育む（PBL）授業づくり	
	8030	【Google Workspaceスキル（基礎編）】やる気があれば大丈夫！「基本のき」から始めるGoogle Workspace for Education	
	8031	【Google Workspaceスキル（応用・発展編）】校務や授業づくりでのGoogle Workspace活用の実践	
	8032	【理論で学ぶ情報活用能力の育成】児童・生徒が主体となって学ぶ授業デザイン～情報活用能力で表現する主体的な学び～	
	8033	【実践で学ぶ情報活用能力の育成】児童・生徒が主体となって学ぶ授業実践～情報活用能力の育成を軸とした、主体的な学びを実現するための教師の役割～	
	8034	【生成AIとリテラシー】生成AIは学びをどう変える？子どもの成長に寄り添う一歩先のICT実践	
8035	【善きICTの使い手となるデジタルシティズンシップ】AI時代の児童生徒が善き使い手となるメディア教育を考える		
8036	【善きICTの使い手となるデジタルシティズンシップ】AI時代の児童生徒が善き使い手となるメディア教育を考える		
8037	【Gemini研修】まずは使ってみよう！初めての生成AI「Gemini」の実践		
8038	【特別支援教育①（自立活動）】自閉症・情緒障がい学級における自立活動の指導の実践～多様なニーズに応じた指導と支援の工夫～		
8039	【特別支援教育②（発達障がいⅠ）】語彙力を育て、「聞く・話す・読む・書く」を支える指導と支援		
8040	【特別支援教育③（発達障がいⅡ）】「学び方」を変えれば実は苦手じゃない～子どもの「困った」に応える指導・支援の工夫～		
8041	【特別支援教育④（ICT活用）】今日から使える！特別支援教育のICT活用術		
8042	【教育相談】昨今の課題を抱えた子どもたちへの理解と支援～ネット・スマホ依存から見えてくる問題を中心に～		

(6) 能力開発講座

分類	研修番号	研修名	主管
鳥取連携	8043	【生徒指導】ポジティブな支援・指導（ポジティブ行動支援）で子どもたちを支える生徒指導	鳥取連携
	8044	【学級経営・ホームルーム経営】だれもが安心して過ごせる学級づくり～通常学級におけるユニバーサルデザインの視点から考える～	
	8045	【人権教育①】誰一人取り残されない教育の創造に向けて～「子どもの権利」の視点から問い直す～	
	8046	【人権教育②】部落差別の解消に向けて～これからの同和問題学習の進め方～	
	8047	【人権教育③】自尊感情を豊かに育む人権が尊重された環境づくりに向けて～「すごいね」「さすがだね」の言葉の影響から考える～	
	8048	【ふるさとキャリア教育】未定	
	8049	【図書館教育】ネットと生成AIの時代に、なぜ読書？なぜ図書館？～児童・生徒が未来を切り拓く探究学習を図書館が支援するために～	
	8050	【生命の安全教育】「からだの権利」の視点から、子どもを取り巻く性暴力について考える～特別な配慮を要する幼児児童生徒への支援を中心に～	
	8051	【防災教育】「防災福祉教育」で被災地の経験を学ぼう！～体験的な学習で子どもたちの「生きる力」を磨く～	
	8052	【博物館連携講座】教員のための博物館の日2026 in 鳥取県立博物館	
	8053	【国際教育】ESD、SDGsの視点から「誰ひとり取り残さない社会」を考える	
	8054	【消費者教育】デジタル社会における意思決定力を磨く～AI時代の情報リテラシー～	
	8055	【環境教育】「気候変動適応って何？」楽しみながら学ぶ気候変動教育の実践～すごろく 気候変動適応への道～	
	8056	【あいサポート】学校での合理的配慮の提供について～学習指導要領の次期改訂を見据えて～	
	埼玉連携	9521	
9522		管理職・特別支援教育マネジメント研修会	
9523		学校における生成AI活用研修会	
9524		学校における著作権研修会	
9525		広報デザインのためのWebアプリケーション活用研修会	
9526		高等学校地理歴史科、公民科の授業力を高める研修会―「歴史総合」「公共」の授業づくり―	
9527		「楽しい授業づくり」音楽科研修会Ⅲ（小・中学校）	
9513		図工・美術授業力向上研修会	
9514		外国語教育における小・中・高等学校の接続を重視した授業力向上研修会	
9508		小学校外国語専科指導教員による魅力ある授業づくり研修会	
9528		国際理解教育実践研修～SDGsと多文化共生の視点による～	
9529		技術・家庭科(技術分野)授業力向上研修会	
9530		小学校家庭科・中学校技術家庭科(家庭分野)授業力向上研修会	
9531		高等学校情報科進学指導を意識した授業づくり	
9532		教諭等・学校組織マネジメント研修会	
9533		地域とともに歩む学校づくりセミナー	
9534		特別支援学校の養護教諭のための専門研修会	
9535		特別支援教育～教員がつながるTひろば～	
9536		みんなで考える生徒指導・教育相談	
9519		教育相談カウンセリング研修会	
9537	管理職・「総合的な探究の時間」を考える研修会		
9515	高等学校数学科・数学的活動の充実を目指す授業づくり研修会		
9538	管理職・人材育成マネジメント研修会		

※ 鳥取連携講座については「しまだい学校教員研修」の講座の名称をそのまま引用しています。

●・・・松江市教育委員会も同名称で実施する研修。松江市立学校・園の教員等は対象外。